

和寒中学校、栄に浴す～平成28年度上川管内教育実践表彰受賞～



左から小野寺局長、安達校長、沓澤教育長

この度、和寒中学校は平成28年度の「上川管内教育実践表彰」に輝き、2月21日、中学校で北海道教育庁上川教育局小野寺一郎局長から表彰状が授与されました。

受賞後安達校長は「これからも、和寒町、管内教育の充実・発展に向けて力を尽くします」と決意を新たにしました。

学校教育部門では、小学校、中学校、高等学校各1校ずつと個人1名が受賞し、中学校は管内65校の中から和寒中学校1校が選ばれ、平成2年以來実に27年ぶりの快挙となりました。

和寒中学校は、「新世紀を拓く、心豊かでたくましく生きる人の育成」を目指し、「創造・協力・意思・健康」を学校目標に掲げ、教職員が一体となって生徒のよさや可能性を伸ばす教育実践に努めています。特に学力向上においては、学校改善プラン『和申八策』の取組がここ数年の全国学力・学習状況調査や全国体力、運動能力・運動習慣等調査において全国平均を上回る成果を上げるなど、学び合う生徒の育成を図っています。日々の話し合いを大切にした授業では、新たな考え方や価値を見出し、根拠を持って自分の考えを語る生徒の増加につながり、「家庭学習の手引」や「生活のしるべ」の活用では、家庭と連携した学習習慣・生活習慣の確立に努めています。



また、道徳教育においては、長年の研究にあわせて平成28年度からは、北海道道徳教育推進事業指定校として「向上的変容を図る指導法の研究」を研究テーマに取り組み、「礼儀とあいさつを大切にする」、「自ら決めて、自ら取り組む」生徒の育成に力を注ぎ、教育活動全体を通じて、他者に対する敬愛の心をもつ生徒や主体的に考え行動できる生徒の育成を行い、管内の道徳教育を牽引しています。

今回の受賞は、その成果が広く管内的に認められたもので、これまでの学校の取組に自信をもつとともにこれからの実践に大きな励みとなるものです。

和寒から2団体が受賞 「わが村は美しくー北海道」

北海道開発局主催の「わが村は美しくー北海道」運動 第8回コンクールで、北のきらきらキッズプロジェクト（近藤俊人理事長）が奨励賞、株式会社和寒シーズ（平崎徹代表取締役）が旭川ブロック賞を受賞し、2月6日（月）に役場で伝達式が行われました。

北のきらきらキッズプロジェクトは、地域資源を活かした子どもたちの体験活動や都市と農村の交流などが評価されました。

株式会社和寒シーズは、ストライプペポを新たな特産品として販売し、生産者や菓子メーカーなどと連携した取り組みが評価されました。

表彰状を伝達した旭川開発建設部の武井次長からは「今後も活躍されることを期待しています」と激励のメッセージが贈られました。



左から武井次長、平崎さん、近藤さん、奥山町長